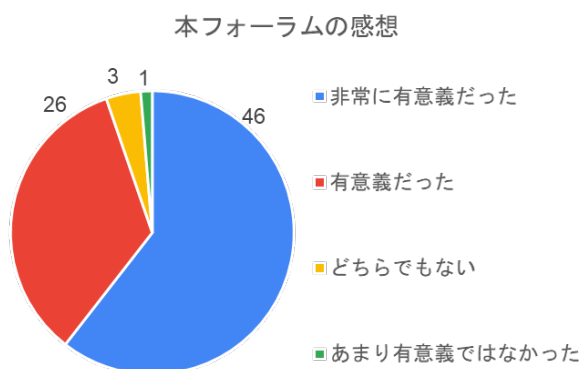
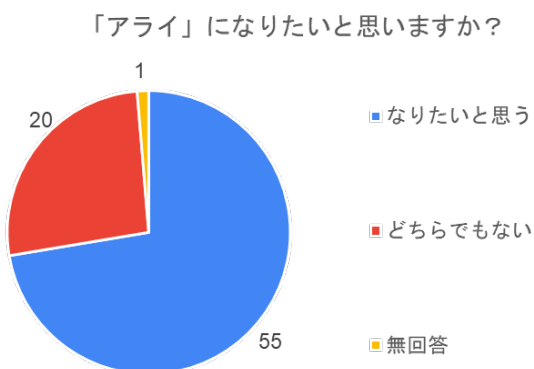
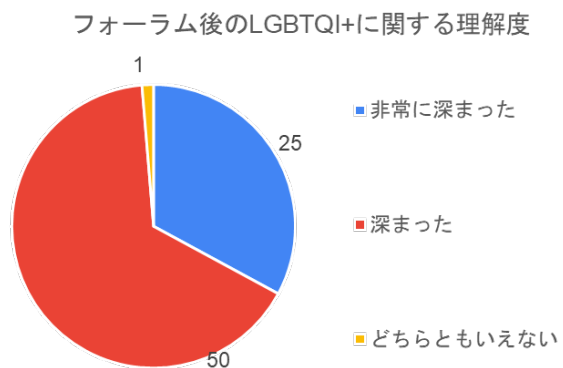
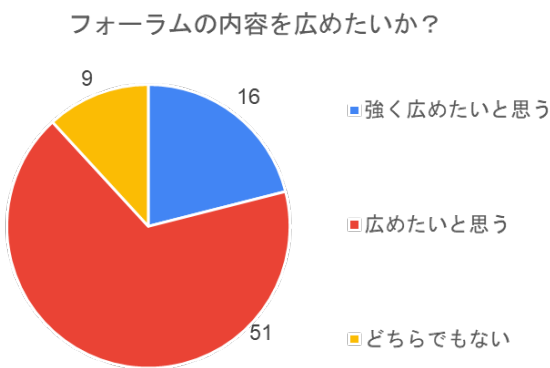
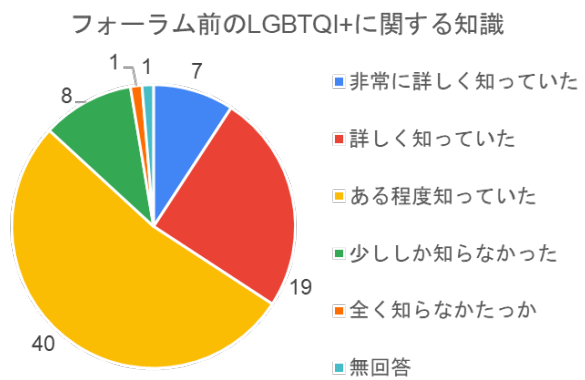
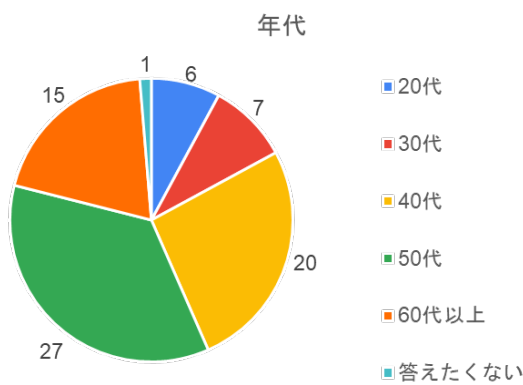
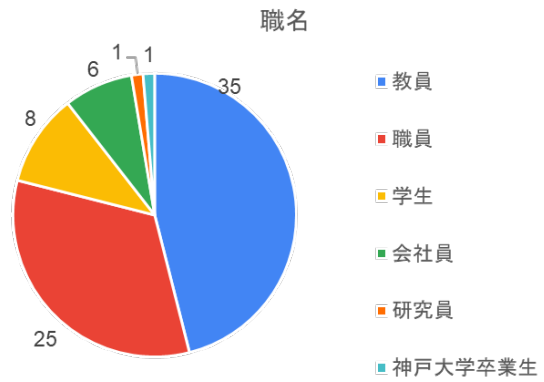
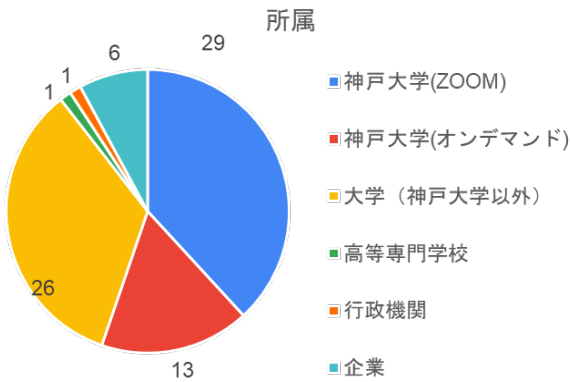


2022 年度神戸大学ダーバーシティフォーラム「ジェンダー・性・セクシュアリティが尊重される社会
をえがくー私たちの課題と展望ー」 アンケート結果 （回答総数 76）



自由記述回答

問9 「問8 本日のフォーラムについてのご感想をお聞かせください」の回答の理由

(1)回答：【非常に有意義だった】 回答数 50 件中自由記述数 37 件

- 1)表面しか捉えられていない理解度の深堀りや奥の深さの一端を知ることができました。
- 2)理解が深まった
- 3)アレキサンダー先生、星様ともに初めてお話を聞かせていただきました。お二人ともお名前だけを存じ上げていた方でしたので、お顔を拝見し、またお考えを拝聴することができ大変勉強になりました。
- 4)今すぐに動く必要があると思えました。また、ダイバーシティの推進の意義等、大学上層部に働きかけるための情報も得ることができました。
- 5)当事者の実際の声を聴けたことが有意義でした。
- 6)改めてLGBTQI+への認識が自分の中で高まった、また、世の中の進展を知ることができた。
- 7)当事者の方々の体験や取り組みを知ることができたため。
- 8)"標準的なことは理解しているつもりだったが、まだまだだったことに気づかされました。
- 9)貴重なお話をお伺いすることができました。みなさま、ありがとうございます。"
- 10)質問について、真摯に回答いただき、理解できたから。
- 11)30年前、留学先でgenderについてのクラスを受講したことがあり、日本人の中では問題意識や理解がある方だと思っていたが、認識していない問題が沢山ある事を知ったから。
- 12)痛みを知っている当事者の方々が、自己の体験をもとに意見を述べられており、納得できる内容でした。
- 13)「私たちのことは私たちぬきで決めるな」という力強い訴えに加え、D&Iの「I」の意義、理論など、多くの学びがありました。
- 14)特に印象に残ったのは当事者の学生の方のお話でした。声を上げることの困難さと重要性について改めて認識しました。
- 15)当事者の本来の生き方を阻害することが大きな社会的損失になっている、ということにこれまで気が付いていなかったから。また、当事者の多様性の広さについても、これまでの認識が異なっていることに気付かされたから。
- 16)生の声を聴けた。ロニー先生の米国での内容は意味が大きいと思った。
- 17)当事者である人の言葉は説得力があり、すっと入ってきました。
- 18)特に星さんのお話は当事者としての考えを率直に話をされておられたのをお聞きして感銘を受けました。男女平等以上に日本では社会的になかなか理解してもらえない範疇になります。是非とも神戸大学が「入ってよかった、この大学で学び仕事を出来てよかったと思える」大学にしていきたいと思えます。微力ですがOBとして出来るだけのお手伝いをさせていただきたいです。久保さんのお話も良かったです。
- 19)大学で現在、ジェンダーに関する議論をしている最中であるが、学生の登壇ので、「当事者の声をきいてほしいこと」「当事者の立場になって検討を少しでも早く進めて欲しいこと」というリアルな言葉を聞き、本学でも学生にとって一日でも早くよりよい環境を整えてあげてほしいことを意識しました。また、キャリア教育、就職支援においても学生がジェンダーにおける悩みが弊害とならないよう支援ができることを目指したいと思いました。
- 20)どの登壇者のお話もわかりやすかったですし、示唆深いものでした。特に金髪の学生の方の勇気ある怒りの声は、日ごろ私が接しているLGBTQ+の学生の声であると受け止めました。一生懸命誠意

をもって接しているつもりでも、まだまだ声を聴けていないのではないかと、学生たちも本当は私にそういいたいのではないかと反省もしました。

- 21) 普段お話を伺うことができない方々のお話を伺うことができ、また私自身も卒業研究でアロマンティックやデミロマンティックについて扱っているため、ゼミ研究にも大変役立つ内容だったと感じているから。
- 22) 4人のかたのお話をお聞きして、その重要性について、さらに認識が深まったと感じたから。
- 23) 「誰もが何かのマイノリティ」という言葉に強く心を動かされました。
- 24) 漠然としていた課題を整理するのに役立ったこと、自分事として捉えることの必要性を改めて感じたこと。
- 25) 熱量がありながら、客観的なデータでもご説明されていて、説得力のあるご講演でした。学生さんの声を取り上げてくださったのも、神戸大学が当事者抜きだけの活動はしていないという表れだと思いました。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 26) "当事者の方の声を聞く、また当事者同士の疑問や考えを口頭で交換していらっしゃる姿をみることも非常に大事だと思いました。また今回、日本を知っている海外のかた、海外を知っている日本のかたのお話ということもあり、様々な知見を得ることができました。"
- 27) 具体的に再認識できました。
- 28) "新しい発見があったことがその理由です。国際的に異なる実情等、あらためて学びたいと感じました。本日のお話をうかがって、「多様性が認められ、それぞれの人がそれぞれの人らしくいられる社会をつくる」にあたっては、心理的安全性が重要となると理解しました。今回のテーマである SOGIE SC に関していえば、人々がジェンダーを二元的なイメージとしてはとらえず、カミングアウトをしても全く問題にならないような状況をつくることができれば、よりそれぞれの人が生きやすい状況になるように感じます。通称利用の制度ができた経緯からは、多くを学ばせていただきました。今変える必要がある、ということも心に響きました。自分のできることにも限界があり、すぐに制度を変えていくにも力足らずなところはありますが、今日いただいた言葉を思い出しながら、できることを少しずつ進めていきたいと考えています。現状としては、あちらを立てればこちらが立たない、といったようななかなか解決できない問題もあるかもしれませんが、まずはどのようにすれば解決するかを（ときには様々な立場の方にご意見をうかがう形で）考えてみたいと思います。"
- 29) LGBTQI+に対する理解が、より深まったので。
- 30) 国際文化学研究科の久保さんの声が聞いて良かったです。神戸大学のダイバーシティでインクルーシブなより良い環境づくりが他大学の見本となってできていてほしいと思いました。
- 31) 自分とは異なるタイプのセクシャルマイノリティの方の生の声を聞くことができた
- 32) 異なる立場の当事者がお話くださって、問題が立体的に理解できた。
- 33) 当事者である方の主張は体験を踏まえた内容であるため、説得力がある。
- 34) 本日当事者のリアルな声を聞きこれまで LGBTQ についてほとんど知らなかったと痛感した。
- 35) 様々な当事者からそれぞれの立場での話が聞いて知見が深まった。特に、学生が行動を起こし、強いメッセージを発信していたことにインパクトがあった。
- 36) 当事者の声を実際に聞いたことがなかったので、とても有意義でした。
- 37) ダイバーシティ・インクルーシブに関する取り組みを進めようと真剣に考えている人・興味がある人が多くいるということが知れて非常に良かったです

【有意義だった】 回答数 26 件中自由記述数 20 件

- 1) 今まで知らなかったお話を伺うことができました。
- 2) 多くの知らないことを知ったので。
- 3) 業務の参考になりました
- 4) "学生なので企業の取り組みについて知ることができる機会が限られていると感じたので、星さんのお話が聞いてとても興味深かった。
- 5) また、学生の実際の声を知ることができたのも非常に意義深いと感じた。"
- 6) LGBT に係る方の現場での話や当事者の思いを知ることができた。
- 7) アレクサンダー氏の当事者としての発言に実感するところが大きかった。マイノリティとしての受ける重圧をマジョリティは理解しようとしていないことの暴力性、その構造への気づきがあったことが学びであった。
- 8) 世間で言われているようなバイアスの掛かった知識しかなかったが、現実の話が聞いて理解が広がり、良い経験ができた。
- 9) そもそもアライ (Ally) という言葉を初めて知った。また SOGIESC という言葉も初めて知った。言葉を知るということはとても大切。
- 10) 実際に LGBTQI+ の人の話を聞き、感覚的にわかりにくかった点がわかった気がする。
- 11) "これまで表面的でしか理解していなかった。"
- 12) このフォーラムで本質的なものを少し理解できたと思う。"
- 13) LGBTQ に関して、様々な立場の方からの話をお聞きすることで理解を深めることができました。
- 14) 学生さんの意見が聞けたこと
- 15) 自身の SOGIESC について考えるきっかけになったこと、LGBTQI+ にかかわらず当事者 (特にマイノリティ) 抜きの意思決定には実効性が乏しいことなどを改めて考えさせられました。
- 16) 当事者の意見はなかなか耳にする機会が多くないため、本日は良い機会であった
- 17) 当事者の方のお話が多く聞けたのがよかったです！！
- 18) 国情により差別が生命を脅かす暴力につながるなど改めて認識した。学生の忌憚のない意見が聞けた。
- 19) こういった取り組みが行われていることを知れて理解が深まりました
- 20) 学生の声が聞けたから

【どちらでもない】 回答数 3 件中自由記述数 1 件

- 1) 学生の意見をもっと聞きたかった (時間配分が不適切)。学生の神戸大学を今すぐに変えたいという強い意気込みと主催者の姿勢との間に大きな温度差があると感じた。

【あまり有意義ではない】 回答数 1 件中自由記述数 1 件

- 1) 性同一障害という言葉が最近見聞きします。本日のご講演でもその当事者の皆さんの生の声が聞けたのは良かったです。但し、星さんのご発言で、"LGBT の中でも私は Major なタイプ" とのご発言がありましたね。本日のご講演からは、LGBT 中の minor な例はなんで、それにはどう対処すればよいか、今一つ判りにくかったです。

「問 10 今後の 神戸大学ダイバーシティフォーラムなどで LGBTQI+に関して取り上げてほしいと思われるテーマをお聞かせください」に対する自由記述

- 1)教職員への対応について具体的な研修など
- 2)一般の方の認識などをベースにした市民の声的な話を聞きたい
- 3)インクルージョンによる企業の活力アップ、業績向上の事例紹介
- 4)大学内で起こる性差別や LGBTQIA +に対する差別について、またはその対処法について
- 5)企業の D&I チームが必然的に参加でき、ワークショップ形式で理解できる場を設け、表面的な活動にとどまらない様、定期的に働きかけてほしい。
- 6)これまでの同種のフォーラム、セミナー等の中で一番良い内容だったと感じています。ただ、パネリスト同士やパネリストと視聴者、視聴者同士の対話の時間があればもっと良かったと思います。このテーマをさらに深めていただき、大学、会社、一般社会でどのように課題を解決していけばよいか、議論を深めて頂ければと思います。
- 7)来年度以降も同じテーマで継続的に実施してほしい。
- 8)大学の取り組みの進捗や課題、当事者との対話の進捗などの経緯。
- 9)子どもを取り巻くセクシュアリティについて（セクシュアルマイノリティ当事者の子ども、子どもへの性教育のあり方など）
- 10)ダイバーシティ推進において、困ったことや反対者の意見も出してほしい
- 11)教職員のカミングアウト。お手洗い、更衣室をどうするか、その時当事者以外の意見をどう取り入れるか、について
- 12)今後とも星さんや久保さんのような方のお話をふぉーたむに入れていただければと思います。
- 13)学内にいても LGBTQI+の取り組みが進んでいる実感がありません。FD でも積極的に取り上げたほうがよいのではないかと思います。
- 14)本日のフォーラム（特に星さん）のように、具体的に何が問題となっていて、それにどう対応すれば、どう良くなるのかなど研究、データ、事例に基づいて教えていただきたいです。
- 15)A スペクトラムについて扱っていただきたいです。
- 16)LGBT の中の minor な例と、その対処方法。
- 17)テーマも大事だが、久保さんが仰っていたように、これっきりにはせず二の矢、三の矢を引き続いてお願いしたい。また、もしも開催されるならば、その情報をいただきたいし、参加もさせていただきたい。
- 18)正しい知識が習得できるような教育的な内容を当面の数回は続けていただきたい
- 19)トランスジェンダーとオールジェンダートイレの関係など。どうしてもオールジェンダーを押し付けてしまうので。
- 20)星様がお話になった、LGBTQI+だけでなく、とその他の様々なマイノリティグループとの間に横串を刺すという課題
- 21)LGBTQI+への偏見や差別をなくすための取り組みを、できれば教育的な介入実験などのデータをもとにご講演いただきたいです。
- 22)神戸大学で学生生活を送る中で感じること（どこを変えないとダメなのか）
- 23)インクルージョンがどう生産性向上やイノベーションにつながるかを議論するテーマ
- 24)LGBTQ プラスの学生の声、アライの声、大学の環境づくりに何が変わって良くなったか。
- 25)マイノリティとそれを攻撃する人々の対立について
- 26)ハラスメントに関するテーマ

27) LGBTQI+の方からの要望をもっと聞きたい

28) LGBT フレンドリーの一般企業で、具体的にどのような取組みを行っているのか例を多く見たい。
そういったことを参考にし、神戸大学ですぐに始められるのはどのような取組なのかを検討していただきたい。

29) 当事者が実際に感じていることをもっと聞きたいと思いました。

30) 大学、特に研究現場というクローズドな環境でどう LGBTQI+の立場を守っていくか